

2020 年度 研究助成

<一般>

<奨励>

申込書要項

※ 本要項を事前にお読み頂き、申込書のご記入をお願いいたします。

申込要件について

■助成の対象となる分野

生命科学諸領域の「基礎的研究分野」

キーワード：生物学、農学、水産学、畜産・獣医学、薬学、医学（基礎医学、臨床医学、社会医学）、
歯学、看護学、医用工学

■申込者の要件

申込時点において、北海道内に所在する研究機関（大学・その附置研究所等、高専、国・地方公共団体の研究所等）、医療機関、民間企業等の研究機関、博物館、科学館、資料館、動物園、水族館、その他の研究団体等に所属する研究者

■助成対象者

1. 一般助成

(1) 年齢は問わない。自立的或いは共同で研究を行う者

ただし申込時、大学院在籍者・学生は除く

(2) 助成金額は「100万円/1件」（16件程度を採択する予定）

※申込件数が著しく多い場合には、助成金額を減額することがあります。

2. 奨励助成

(1) 申込時の満年齢が40歳未満であること。自立的研究を行う者

ただし申込時、大学院在籍者・学生は除く

(2) 助成金額は「50万円/1件」（15件程度を採択する予定）

■採択率 (%)

年 度	一般	奨励
2017 年度	10.6	32.7
2018 年度	14.1	32.2
2019 年度	18.4	45.2
2020 年度(目標)	18.0	37.0

■助成金の使途

当財団からの助成金（奨学寄附金）は全額を研究費に充てて頂く方針ですので、採択後には、必要に応じて所属する研究機関でオーバーヘッドの免除申請を行ってください。

なお、助成金は2020年度内に終了する研究を対象とします。

選考について

■選考方法

当財団の選考委員会において選考され、2020年6月開催予定の理事会・評議員会において正式に決定されます。

■選考基準

1. 秋山財団の掲げる目的、事業内容に相応しい研究、特に以下の点に期待します。

(1) 北海道から発信する

(a) 基礎的研究

(b) 萌芽的研究

(c) 独創的研究

(2) 若手研究者への支援

特に、奨励助成は課題に挑戦する「旺盛な研究心」を重視

(3) 女性研究者への支援

(4) 助成研究に係わるアウトリーチ活動

2. 以下の事項について留意します。

(1) 広汎な領域・分野への助成

(2) 同一研究室及び同一研究テーマについて、複数の採択は行いません。

※助成区分(一般・奨励・アレルギー特別)が異なる場合には、上記の条件は問いません。

(3) 同一助成区分(一般・アレルギー特別)内の再度の採択は、前回の採択から3年を経過している場合に限りです。(2017～2019年度の受領者は、2020年度において同一助成区分では申請することができません)

※助成区分(一般・アレルギー特別)が異なる場合には、上記の経過条件は問いません。

(4) 奨励助成の採択は原則として一度限りいたします。

(5) 申込は、一般・奨励・アレルギー特別のいずれか1件のみ。

■選考結果等

1. 6月下旬に書面にて全ての申込者へ通知します。

2. 採否の理由等、選考に関わる内容に関してのお問合せは応じかねますので、予めご了承ください。

3. 研究終了後、研究報告書をご提出頂きます。

4. 『秋山財団年報』への寄稿、贈呈式の出席、「アウトリーチ活動」等にご協力をお願いいたします。

申込について

助成が決定した場合、2020年9月10日(木)に開催する秋山財団贈呈式にご出席頂きます。

■申込期間

2020年2月1日(土)～3月6日(金) 必着

■申込書要項・申込書の入手方法

財団ホームページからダウンロードしてください。郵送をご希望の方はご連絡ください。

■受理No.および選考結果通知用封筒

1. 郵送にて通知いたしますので、封筒(長形3号:120×235mm)2通をご用意ください。
2. 封筒には、「郵便番号」・「住所」・「所属機関名」・「氏名(様を付与)」をご記入のうえ、84円切手を貼付し、封筒右上には一般助成の場合には<一般>と、奨励助成の場合には<奨励>とご記入ください。

■申込書の提出方法

1. 申込書および添付論文は、それぞれ左上1箇所をホチキスで止め(申込書・論文A・B・C)というページ順で3セット(正1部、副2部:コピー可)をご用意頂き、封筒(長形3号:120×235mm)2通も忘れずにご同封ください。
2. 簡易書留・宅配便・レターパックにて必ず配達記録の残る方法でお送りください。(FAX、E-mail不可)
3. 送付先:

〒064-0952 札幌市中央区宮の森2条11丁目6番25号
公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団事務局 研究助成 宛
TEL:011-612-3771

■個人情報の取り扱い

申込書にご記入頂いた個人情報およびご提出頂いた資料は、本助成事業の選考のみに使用します。ただし、助成が決定した場合には助成対象者氏名、所属、職位、研究テーマ等を公表いたします。

■提出上の注意点

1. パソコン入力のフォントはMSゴシック・9~10.5ポイントを基本とし、英数字は半角としてください。
2. 各項目は、そのページに収まるようにしてください。
3. 各項目の下にある【メモ】欄は、事務局使用欄です。
4. 記載する年はすべて西暦でご記入ください。
5. 申込書は片面印刷としてください。

申込書の書き方

※ 以下のA~Q(奨励はA~P)の各項目は全て審査の対象となりますので、必ずご記入ください。

A. 申込者

1. 氏名にはフリガナをつけ、年齢は記入日における満年齢をご記入ください。
2. 所属機関は省略せず、正確にご記入ください。なお、所属機関が変わる場合には事前に事務局へご連絡ください。
3. 不在時の連絡欄には、申込者に代わって連絡の窓口となる方が出来る方(秘書、事務担当者等)をご記入ください。なお、該当者がいない場合には、氏名欄に「なし」とご記入ください。

B. 研究テーマ

処理システムの入力条件上、40字が限度です。40字以内に収まるようにご記入ください。

C. 申込研究テーマの研究分野と研究区分

1. 研究分野は、下表から該当するものを1つ選択してご記入ください。

生物学、農学、水産学、畜産・獣医学、薬学、基礎医学、臨床医学、社会医学、歯学 看護学、医用工学、その他()

2. 研究区分欄は、**科学研究費助成事業 審査区分表(小区分一覧)**

(https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html)をご覧ください。申込研究テーマに該当する**5桁の小区分**を1~2つご記入ください。

D. 共同研究者(＜一般＞のみ)

共同研究者がない場合には、氏名欄に「なし」とご記入ください。

E. 当財団の採択実績の有無(＜奨励＞は、D)

採択実績がある方は、採択年度(西暦)、区分(一般、奨励、アレルギー特別)をご記入ください。採択実績がない方は、「なし」とご記入ください。共同研究者としての採択実績は、ご記入不要です。

F. 申込者所属長確認書(＜奨励＞は、E)

申込に当たっては、所属機関の長(学長、研究科長・院長、附置研究所長、施設長、センター長等)の確認が必要です。「日付」のご記入と、「職印または公印等」の押印を忘れずをお願いいたします。

G. 申込研究テーマに込める想い(＜奨励＞は、F)

申込研究テーマに込める**意気込み**や**研究者としての志**、**秋山財団に申込をした理由**、申込者が考える「生命科学」について述べてください。また、研究者を目指した個人的理由等も差支えなければ述べてください。

H. 「アウトリーチ活動」(＜奨励＞は、G)

- 秋山財団の設立趣意書には、「生命科学の振興と地元の人材育成及び地域産業の振興に貢献するとともに、道民福祉の向上に寄与したい」と明記されており、生命科学(いのち)に関する研究を通して、道民との積極的なコミュニケーションを図る研究者を支援します。
- これまで実施した「アウトリーチ活動」と、今回申込の研究テーマを基に「若い世代を始めとする多様な市民」を対象に実施する**今後の「アウトリーチ活動」の計画**をご説明ください。
なお、ここでいう「アウトリーチ活動」とは、小・中・高校生など若い世代へ、研究者自身の研究に込める**想いや志**、そして研究内容を伝え、積極的なコミュニケーションを図る活動です。従来の「学会での発表や論文・専門誌への掲載」などは対象外といたします。
- 財団ホームページ“秋山財団からのお知らせ”にて、当財団がこれまで実施した「アウトリーチ活動」の事例を紹介しておりますのでご参照ください。

贈呈式は、秋山財団の事業の集大成として行われる大切な場と位置付けております。受賞者、受領者はもちろん、財団理事・監事、評議員、選考委員の他に賛助会員、歴代の財団関係者、大学関係者、ご来賓、そして市民の方が参加する秋山財団最大の「アウトリーチ」の場です。ちなみに2019年度贈呈式には、延べ400人を超える方にご参加頂きました。当日の様子を、財団ホームページに動画・写真にて掲載しておりますので、ご覧ください。

I. 申込者の略歴(＜奨励＞は、H)

学歴は大学(学部)から、職歴は主なものをご記入ください。西暦をご使用ください。

J. 申込研究テーマの背景と「問題点」(＜奨励＞は、I)

研究テーマの申込に至った経緯や研究の必要性、「問題点」や挑戦すべき目標をご説明ください。

K. 申込研究テーマの「問題点」の解決(＜奨励＞は、J)

研究テーマの問題点を解決する方法や突破の仕方、設定した課題を達成する方法を具体的にご説明ください。

L. 申込研究テーマの新しさ(＜奨励＞は、K)

申込研究テーマは既存研究や類似の研究とどこが違うのか、どのような点が独創的なのかをご説明ください。また、申込研究テーマと北海道との関連性についてもご説明ください。

M. 申込研究テーマの研究計画(＜奨励＞は、L)

助成金の使途との関連付けを行いながら、時系列でご記入ください。ただし、2020年度内に終了する研究計画とします。計画には、実験(検証)方法も載せてください。

N. 助成金の使途(＜奨励＞は、M)

設備・備品費、消耗品費、旅費、研究補助者への謝金、その他研究に必要な使途全般です。ただし、研究に関わる機器・備品等については、その種類と設置場所を付記してください。また、項目「助成金の使途について」(1 ページ)をご確認ください。

O. 申込者が最近2年間に受領した助成金(＜奨励＞は、N)

科研費、他財団からの助成金については遺漏のないようにご記入ください。助成金の名称欄には助成金の具体的区分をご記入ください。受領していない場合には、助成金の名称欄に「なし」とご記入ください。

P. 申込者が申込中、または申込を予定している助成金(＜奨励＞は、O)

同一または同様の研究テーマに関して、科研費、他財団に採択された場合には、事務局に速やかにご連絡ください。予定していない場合には、助成金の名称欄に「なし」とご記入ください。

Q. 関連論文リスト(＜奨励＞は、P)

1. 申込研究テーマに関するもので、一般については2015年以降(奨励については2017年以降)の申込者自身の論文(共著論文を含む)リストをこのページに収まる範囲でご掲載ください。各論文には通し番号を付けてください。
2. 代表的論文(一般は1~3篇、奨励は1篇)については、通し番号に○印を付けたうえで、それぞれコピーを3部お送りください。なお、論文はご返却出来ませんので、予めご了承ください。

＜ご参考＞

財団ホームページにこれまでの受領者情報(研究者氏名、研究テーマ等)を掲載しておりますので、ご参考までにご覧ください。